

コミュニティ・ユース・バンク momo

2016年度事業計画

1. 出資・融資事業

(1) 出資金の募集

2015年度に引き続き、momoのミッションに賛同し、顔の見える関係にある個人・団体からの出資・増資を募っていきます。「融資先に適切な支援を提供できる人材を巻き込む機会」としての「質の向上」のみならず、「量の拡大」も意識し、東海地域での講演等では「出資のてびき」「momoのあゆみ」を配布し、広く出資を呼びかけます。

ブース出展時の直接対話（ダイレクトダイアログ）による働きかけも継続して実施し、新たな仲間づくりを進めていきます。

(2) 正会員への融資

1) 融資の募集

16年度の融資募集は年3回行います。融資申し込みの受付開始は16年6月、10月、17年2月を予定しています。

2) 「融資無料相談」「面談（一次審査）伴走支援」の実施

16年度も引き続き、毎月23日前後に「融資無料相談」を開設（時間帯は各月によって異なる）し、融資希望者とともに融資の可能性を探ります。また、書類審査を通過した融資申込先に対しては、各担当理事が伴走支援を実施します。

3) 融資審査委員会の開催

16年度も引き続き、融資申込案件は理事のほか、NPO/NGOやコミュニティビジネス、金融のエキスパートである顧問とともに、融資審査委員会で審議し、理事会で融資実施の可否を決定します

16年度の顧問は以下の8名です（敬称略）。各顧問には二次（面談）審査にはできる限り同席いただくようお願いします。

- ・五十川裕記（中日信用金庫 業務統括部 次長）
- ・岩田佳樹（愛知県信用保証協会 保証推進部保証統括課 副長）
- ・加藤慶文（株式会社日本政策金融公庫 国民生活事業 名古屋広域営業推進室 室長）
- ・川北輝（NPO 法人津市 NPO サポートセンター 理事長）
- ・酒井隆信（東濃信用金庫 とうしん地域活力研究所 副所長）
- ・佐野真隆（瀬戸信用金庫 総合企画部 地域貢献グループ 副調査役）
- ・原美智子（NPO 法人ぎふ NPO センター 専務理事）
- ・古里圭史（飛騨信用組合 常勤理事 経営企画部長／ひだしんイノベーションパートナーズ株式会社 代表取締役副社長 投資事業部長）

4) 融資の実施

借り手の資金ニーズの把握に努め、出資総額の70%を上限に融資を行います。貸し倒れ等のリスク対策として、15年度に引き続いて貸付金利息を損失準備金として積み立て、理事の出資金（16年6月末で2,369,000円）を劣後出資として設定し、当面の貸し倒れに備えます。

2. 非資金支援（「情報発信」と「場づくり」）

(1) メーリングリストの活用

出資や融資などの当団体の活動を随時お知らせするために、会員メーリングリスト（momo-members@freeml.com）を積極的に活用します。引き続き「momoレポート」を月1回配信するほか、会員間の情報交換、融資先や審査に関する情報などもお届けします。

また、イベント情報等を会員に PR したい方は、交流メールリスト
(momo-koryu@freeml.com) をご活用ください。

(2) Web サイトの充実

当団体の考えや取り組み、かかわる人たちを広く伝えていくために、15 年度より引き続き Web サイトを活用します。スマートフォンにも対応できるよう Web サイトをリニューアルします。ボランティアスタッフ「momo レンジャー」の日々の活動は、引き続きブログや twitter、facebook などで報告し、当団体の動きが随時わかるよう努めていきます。

(3) イベントの開催・出展

16 年度もボランティアスタッフ「momo レンジャー」の自発的な参画により、以下の開催を予定しています。(今年度も momo レンジャーの活動期間を「半年」ごとの更新制とし、「情報発信」と「場づくり」を通して融資先を応援していきます。)

- お披露目会：新たな融資先の活動を紹介するイベントを開催します。
- 完済イベント：完済を迎えた融資先の成果を報告し、完済を祝うイベントを開催します。
- ブース出展：来場者が多数集まる屋内外の各イベントにブースを出展し、直接対話で出資を募る「ダイレクトダイアログ」等を実施します。
- 融資先訪問ツアー：会員とともに融資先を訪ね、自分たちのお金が地域で回り、地域に活かされていることを実感してもらいます。

(4) その他

16 年度も融資実施後の経過を把握するために、融資先の活動に適宜参加したり、「融資先訪問ツアー」等の開催を通して、ともに学び合う関係を築いていきます。また、返済期日を厳守いただくためにも継続して連絡を取り合っていきます。

3. 地域金融機関等との連携事業

(1) NPO の社会的価値「見える化」プログラム 2016

13 年度から金融機関等と連携し、職員のみなさんが仕事で培ったスキルや経験を生かす「プロボノ」として勤務時間外に参画し、市民公益活動団体 (NPO) を半年間応援する「NPO の社会的価値『見える化』プログラムを、16 年度も引き続き実施します。

プロボノは複数名のチームをつくり、ミーティング等を通して、参加 NPO である momo の融資先 (16 年度の参加 NPO は NPO 法人ふれ愛名古屋) が地域や社会にもたらした定性的な価値を、貨幣価値に換算して定量的に示す「SROI」を測定し、そのプロセスや結果から NPO への提案をまとめます。

なお、16 年度は「プロボノ」を公募し、より多様な属性の参画を目指します。また、「momo たね基金」としてご寄付いただいた資金を、本プログラムに活用させていただきます。

(2) 東海ろうきん「NPO 育成助成」の企画・運営

16 年度も東海ろうきん「NPO 育成助成」の企画・運営を担当します。地域や社会にもたらす価値 (= 成果) を重視する、本気で社会を変えたいと考えている NPO の「社会を変える計画づくり」「事業計画づくり」「実行計画づくり」をサポートします。

(3) 『お金の地産地消白書 2014』を読む会」の開催

14 年度に発行した『お金の地産地消白書 2014』をテキストとした「『お金の地産地消白書 2014』を読む会」を、16 年度も引き続き全国の地域金融機関や行政、中間支援組織等を対象に実施します。

(4) ソーシャルビジネスサポートあいち

地域の課題をビジネスの手法で解決するソーシャルビジネス事業者を、地方公共団体、地

域金融機関、中間支援組織等で連携して支援するためのネットワークです。地域の支援機関との共同で2014年10月23日に発足しました。16年度も引き続き、本ネットワークに参画するとともに、日本政策金融公庫との共同事務局としてWebサイトの運営などを担います。

(5) 実行委員会や会議等への派遣

16年度、代表理事の木村や他の役職員を委員等として派遣する予定の実行委員会、会議等は以下の通りです。

【木村】

- ・ 寄付月間推進委員会 委員
- ・ 休眠口座国民会議 呼びかけ人
- ・ 全国NPOバンク連絡会 副理事長
- ・ 一般社団法人全国コミュニティ財団協会 副会長
- ・ 東海若手起業塾実行委員会 理事／事務局長
- ・ 名古屋市社会福祉協議会・名古屋市主催「地域福祉リーディングモデル事業」選考委員会委員
- ・ 認定NPO法人日本NPOセンター 評議員
- ・ NPO法人日本ファンドレイジング協会 理事
- ・ Panasonic NPOサポートファンド（環境分野） 助成選考委員

(6) ヒアリング調査等への対応

16年度も引き続き、ヒアリング調査等のお申し出にもできる限り対応します。

4. 東海若手起業塾

16年度も引き続き、事務局として参画し、東海地域を活性化するために自らの事業を本格的な成長軌道に乗せたいという情熱を持った若手起業家を支援していきます。

5. その他（管理運営）

●総会・理事会の開催

16年7月23日（土）に定時総会を開催します。また、16年度も理事会を原則毎月開催します。

2016 年度予算

予算書

コミュニティ・ユース・バンク momo

自 2016 年 6 月 1 日至 2017 年 5 月 31 日

(単位：円)

科目／項目	2015 決算	2016 予算
I. 経常収益		
1 受取会費		
情報会員	226,000	300,000
2 受取寄付金		
マンスリー	124,500	620,000
その他寄付	2,899,761	50,000
3 受取助成金等		
助成金	1,666,668	0
4 事業収益		
融資	453,555	300,000
非資金的支援(情報発信と場づくり)	987,400	0
金融機関等との連携	6,911,440	9,690,000
東海若手起業塾	3,338,420	2,935,000
5 その他収益		
受取利息	5,174	5,000
雑収入	500,000	0
経常収益計	17,112,918	13,900,000
II. 経常費用		
1 事業費		
(1)人件費		
役員報酬	1,756,440	3,792,000
給料手当	3,755,772	3,672,000
賞与	1,105,000	0
通勤手当	407,898	344,285
法定福利費	540,697	617,100
人件費計	7,565,807	8,425,385
(2)その他経費		
外注費	1,713,594	263,029
広告宣伝費	861,482	419,779
印刷費	1,161,434	716,397
会議費	147,228	1,000
旅費交通費	461,729	460,000
通信費	551,897	354,500
消耗品費	93,808	85,000
水道光熱費	88,772	85,000
諸会費	65,150	62,000
支払手数料	160,963	92,500
謝礼金等	1,250,000	810,000
賃借料	104,240	20,000
出展料	0	0
租税公課	151,300	0
その他雑費	27,450	12,000

その他経費計	6,839,047	3,381,205
事業費計	14,404,854	11,806,590
2 管理費		
(1)人件費		
役員報酬	192,000	288,000
給料手当	580,588	648,000
賞与	195,000	0
通勤手当	71,982	60,765
法定福利費	95,417	108,900
人件費計	1,134,987	1,105,665
(2) その他経費		
外注費	0	0
広告宣伝費	0	0
印刷費	52,325	52,500
会議費	0	0
旅費交通費	49,840	50,000
通信費	14,050	57,900
消耗品費	40,724	15,000
水道光熱費	15,666	15,000
諸会費	90,720	0
支払手数料	7,819	7,500
謝礼金等	0	0
賃借料	28,000	11,000
出展料	0	0
租税公課	0	0
その他雑費	18,524	16,000
その他経費計	317,668	224,900
管理費計	1,452,655	1,330,565
経常費用計	15,857,509	13,137,155
Ⅲ 経常外費用		
1 予備費	0	0
2 損失準備金積立	653,555	300,000
3 未払法人税等	218,500	100,000
経常外費用計	872,055	400,000
費用合計	16,729,564	13,537,155
当期正味財産増減額	383,354	362,845
前期繰越正味財産額	3,467,547	3,850,901
次期繰越正味財産額	3,850,901	4,213,746